

スポーツボランティアのキホン

選手、観客、仲間と一体感持つ

前回、スポーツボランティアへの参加目的は人それぞれである事をお話ししました。スポーツボランティア参加の目的は様々でしょうが、今回は活動を楽しむと言う観点を取り上げます。

スポーツは「するスポーツ」としての競技の参加者、「見るスポーツ」としての観客、そして「支えるスポーツ」としてのボランティアと三つに分類できます。この、支えるスポーツとしてのボランティア活動を行う皆様楽しんで積極的に活動に参加することでスポーツ文化の醸成に繋がると期待されています。では、皆さん自身はどのように楽しめば良いのでしょうか？

■参加選手が競技でより良いパフォーマンスを発揮できるようにサポートする

競技に参加する選手は、自分のパフォーマンスを最大に発揮すべく競技に臨んでいきます。初めて訪れる会場の場合は不安があります。そういった時に、イベントに関する様々な情報をボランティアに問い合わせることもあります。ボランティアは参加選手の立場に立って案内をすると参加選手から喜ばれます。また、マラソン大会における沿道ボランティアからかけられる励ましの言葉はランナーの力になり、大会の良い思い出にもなるようです。

スペシャルオリンピックスという知的障害のある方々の日々のスポーツをサポートする活動があります。笑顔が素晴らしいアスリート達が真剣にスポーツに向き合える環境を作り出すのもボランティアに期待される活動の一つです。

②楽しんで活動するポイントは

■スポーツを見る観客にイベントを楽しんでもらう

観客の皆様は、スポーツイベントを楽しんでもらう事も、大切な要素になります。

一昨年のラグビーの世界大会では、世界中から観戦を楽しみにお客様が日本に来て頂きました。札幌においても試合会場のみならず大通公園でイベントが開催され、海外からのお客様も札幌の街を楽しまれました。街中でのボランティアのおもてなしは、海外からのお客様には大変好評だったようです。また、会場では海外からのお客様とハイタッチをして観客の皆様と一緒に大会を盛り上げていました。ボランティアのおもてなしに「素晴らしい」という感想が送られていたそうです。

大きなイベントだけでなく、小さなイベントにおいても、「イベントを楽しみたい」「選手を応援したい」という観客の皆さんの気持ちに沿って活動を行うことは、大会そのものを成功に導くことになるばかりか、ボランティア活動への感謝の声として賞賛されています。

■ボランティア仲間と活動を楽しむ

様々な背景を持った方々が様々な目的をもって活動を行うスポーツボランティアですが、活動の共通の目的はイベントを成功させることではないでしょうか？イベントの成否は参加者、観客だけでなく、ボランティアで参加される皆さんが「参加してみて良かった」「また次回も参加したい」と思う事だと言われています。活動を通じてお馴染みさんを作り、創意工夫をしながら皆で協力しながら和気あいあいと活動してみても如何でしょうか？自らが楽しむことで、周りの方々にも楽しみを広げていくことができます。皆様の笑顔によって、周りの方々も笑顔になります。東京で開催される大規模なマラソンイベントのように「笑顔が力になる」と謳っているイベントもあります。

寄付のお願い

認定NPO法人ランナーズサポート北海道では、北海道のランニング文化の健全な発展やスポーツボランティアの拡充のために、企業・団体・個人からの寄付を募っています。2013年7月に認定NPO法人となったことで、税制上の優遇措置が受けられるようになりました。寄付をしていただいた個人は所得税と住民税、法人は法人税が減額され、納めた税金の一部が戻って来ます。いずれも当NPO法人の発行する領収書を所轄の税務署に提出して申告する必要があります。クレジットカードによる寄付もできます。

詳しくはランナーズサポート北海道ホームページ
<https://runsupport-h.org>の「寄付のお願い」の項目をご覧ください。

★編集後記★

Jリーグとプロ野球がともに開幕しました。しかしコンサドーレ札幌と日本ハムファイターズは、今期の新たなボランティア募集を見合わせています。シーズンが佳境を迎えているBリーグのレバンガ北海道は、ボランティアの受け付けはしていますが、高齢者の感染リスクが高いことから、2020-21シーズンは60歳以下を対象を限定しました。ワクチン接種がようやく始まったのが希望の材料ですが、できる限り早くこの息苦しい状況から世界が抜け出せたらと願ってやみません。(K)

北のスポボラを支援していただいた団体・企業

- 株式会社サッポロドラッグストア 一般財団法人 札幌市スポーツ協会 さっぽろグローバルスポーツコミッション
- NPO法人 日本市民スポーツ海外交流協会 北海道マラソン組織委員会 北海道ロードレース事務局
- 創文企画「ランニングの世界」 西宮の沢バッティングパーク ピッチャーガエシ